

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考														
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等												
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果		満足度	必要性	目標①	目標②										
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の創業・経営革新へ積極的な支援・促進を実施すべく、窓口での相談指導や巡回相談指導により各事業所に対し伴走型支援を行う。	・巡回相談指導 実事業所数 594事業所 延べ件数 1,341件 ・窓口相談指導 実事業所数 362事業所 延べ件数 823件 ・指導実事業所数 787事業所 ・課題解決提案件数 55件 ・経営革新承認件数 2件	小規模事業者	指標	2000	実績数値	2164	達成率	108.2%	指標	50	実績数値	55	達成率	110.0%	各種制度改正・補助金、資金繰り等、小規模事業者の経営体質改善支援並びに各種施策普及を行う事ができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	より多くの事業所の課題を把握し、それに対する解決提案につながる事業計画策定ができるよう伴走型支援に注力していく。	○
記帳継続指導	個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者の経営改善に資することを旨とし、記帳から決算申告に至る一貫した記帳継続指導を行う。また、希望される全案件を電子申告対応としていく。	・指導事業所数 56事業所 ・指導延日数 711日 ・指導延回数 789回 ・電子申告事業所数 51事業所	小規模事業者	指標	54	実績数値	56	達成率	103.7%	指標	650	実績数値	789	達成率	121.4%	経理事務の省力化の他、売上状況や経営等の速やかな把握により、経営改善策定や経営の方向性・営業方針の決定等に有効であった。また、電子申告希望の事業者にはマイナンバーカードを利用して電子申告を行う事ができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	機械的に毎月帳簿入力をするだけでなく、試算表から見えてくる数値を事業所へ理解してもらうような指導をしていく。	
講習会等	小規模事業者の経営知識の普及と経営の安定を図るため、集団講習会を開催する。個別講習会では、専門家による課題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。	・集団指導 計9回 受講者144人(全体204人)(内経営革新1回・22人) ・個別指導 金融・税務・下請・経営・企業再生・労務・法律・情報・特計77回 年間受講者数 191人(全体200人)	小規模事業者	指標	100	実績数値	144	達成率	144.0%	指標	60	実績数値	191	達成率	318.3%	集団指導は、地域中小・小規模事業者のニーズ(DX・IT化等)に応え、受講者には今後の経営安定の一助に繋がった。また、個別指導は、小規模事業者が抱える課題について、専門家を交えた解決策を見だし、事業計画策定など経営安定に資することができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	人手不足解消や賃上げの原資確保を目指した実益につながる内容や、ITやDXなどの集団講習会を検討し、小規模事業者の満足度を向上させる。個別講習会は、多岐にわたる相談に応じるため目標を掲げ置く。	
創業支援	創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、創業計画策定を支援することで、事業者のスムーズな開業を促し、地域経済の活性化と雇用の維持を図る。	産業競争力強化法に係る創業支援事業の実施 ・創業窓口相談(巡回相談含む) 延べ件数 43件 ・起業家支援セミナー開催4日間×3時間 受講者数 30人 ・ハンズオン支援 0件	創業希望者及び創業後5年以内の小規模事業者	指標	60	実績数値	43	達成率	71.7%	指標	20	実績数値	30	達成率	150.0%	支援機関と連携し、起業希望者への知識提供や創業計画策定支援を行い、継続的な伴走型サポートを実施することで、創業後の安定経営や経営力向上を促進し、地域の事業者維持や地域活力の創出に繋がっている。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	参加者のニーズに即したカリキュラムと実践的支援を強化し、質の高い創業塾を継続的に提供することで、創業後の安定経営と地域活力の向上に繋げていく。	○
青年部・女性会事業	青年部では、若手経営者・後継者・幹部職員等が、研修や商工会議所活動への参画、協力を通じて地域経済、地域社会の繁栄に貢献する。また、これらの事業を通じ、会員相互の連携と人脈作りを繋げる。女性会では、会員の資質向上・交流を図るとともに、街の活性化や自社の発展に積極的に取り組む。	【青年部】会員参加率 78% ・総会3回(4月、5月、10月)96% ※出席の委任状含む ・役員会12回(毎月)98% ・その他事業開催 41% 【女性会】会員参加率 69% ・総会2回(4月、1月)70% ・役員会10回 86% ・その他事業開催 52%	小規模事業者等における若手経営者(後継者等)並びに女性経営者	指標	50	実績数値	78	達成率	156.0%	指標	50	実績数値	69	達成率	138.0%	青年部は地域活性化事業や交流イベント、国際視察事業などを実施し、会員が社業繁盛に直結する経験を積み場となった。参画した会員は、自社の知名度向上や他会員との横の連携強化が図れ、ネットワーク拡大や地域への貢献意識向上にも繋がった。女性会は出会い応援事業や子ども支援事業を通じて、会員相互の相乗効果を生み出すことのできる活動ができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	会員の多様なニーズに応じた事業企画や参加促進策を強化し、交流・学習の機会を充実させることで、参加率向上と会員の資質向上を図り、全体の活動活性化に繋げていく。	
若手後継者等育成事業(国際視察研修会)	先進地視察と講演会を通じて得た情報を自社業にフィードバックすること、新たな人脈を築くことで、自社企業の発展、地域活性化にも広がるものとなり、今後の青年部活動も実りあるものとする。また、青年部指針でもある国際社会の一員であるべき国際人としての教養を高めるに寄与する事業とする。	自己負担で事業を実施したため廃止した。	会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員	指標	30	実績数値		達成率		指標	70	実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②	令和8年度青年部の若手後継者等育成事業は研修会の実施と全国リーダーズ研修会の参加の2事業とする。	
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	満足度		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価	調査結果	必要性		目標①	目標②		
				指標		実績数値		達成率		指標		実績数値		達成率			総合評価		事業実施評価		自己評価							

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D 評価										
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①	目標②			
若手後継者等育成事業（生成AI研修会）	昨今、生成AIは社会へ浸透し、あらゆる企業活動の領域で活用が広がっている。今後生成AIの活用は不可欠になるが、心理的障壁により、対応が遅れ競争力を失う事業所が生まれる可能性がある。青年経済人として、知識とスキルを習得し、業界の革新をリードしていく必要がある。	生成AI研修会 ・日程 6月26日(木)、7月18日(金)、8月18日(月)、9月19日(金)、10月20日(月) ・参加者数 延204名 ・場所 半田商工会議所 ・講師 茂木智広氏(精工) ・会員アンケート結果 90% (満足度)	会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員	指標	100	実績数値	204	指標	70	実績数値	90	得られた効果	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和8年度青年部の若手後継者等育成事業は研修会の実施と全国リーダーズ研修会の参加の2事業とする。
若手後継者等育成事業（ビジネス活性化事業研修会）	会員事業者間の連携を促進し、地域全体のビジネス活性化を図ることを目的とする。事業者間の連携の前提となるのは相互の信頼関係であり、そのためには互いの社業や強みを理解し合い、気軽に相談・協力できる関係性の構築が不可欠である。本事業では、交流や意見交換の機会を通じて関係を深めるとともに、具体的な相談や連携のきっかけづくりを支援する。これにより、会員同士が互いに支え合い、新たなビジネスチャンスを創出する環境を整え、地域経済の持続的発展につながるネットワーク形成を目指す。	ビジネス活性化事業研修会 全体研修、小規模交流勉強会、事業計画作成 ・日程 6月3日(水)、7月23日(水)、8月27日(水)、9月18日(木)、10月2日(木) ・場所 半田商工会議所、会員事業所 ・講師 寺田久美氏(中小企業診断士)他 ・参加者数 延べ184人 ・会員アンケート結果 93% (満足度)	会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員	指標	100	実績数値	184	指標	70	実績数値	93	得られた効果	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和8年度青年部の若手後継者等育成事業は研修会の実施と全国リーダーズ研修会の参加の2事業とする。
若手後継者等育成事業（組織活性化事業研修会）	本事業は、会員企業の組織基盤を強化し、持続的に発展できる体制づくりを目的としている。第1の取組として、BCP（事業継続計画）の理解と策定支援を行う。自然災害やサイバー攻撃など、緊急時にも事業を継続・早期復旧できる体制を整えることは、企業の社会的責任であり、近年その必要性が高まっている。単独での対応が難しい小規模事業者に対し、YEGのネットワークを活用して相互支援体制を構築する。第2の取組として、自社の魅力を効果的にPRする採用活動を探索する。労働条件の改善や広告費に頼らず、事業内容や職務内容など企業本来の魅力を発信することで、負担を抑えながら人材確保につながる方法を学ぶ。これらを通じて、会員企業の組織力と競争力の向上を図る。	組織活性化事業研修会 ○災害シミュレーション ・日程 5月21日(水) ・場所 半田商工会議所 ・講師 笠井貴洋氏(笠井防災教育考究社 代表) ○ハローワーク求人票作成演習 ・日程 9月24日(水) ・場所 半田商工会議所 ・講師 五十川将史氏(社会保険労務士) 参加者数 延べ126人 会員アンケート結果 91% (満足度)	会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員	指標	200	実績数値	126	指標	70	実績数値	91	得られた効果	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和8年度青年部の若手後継者等育成事業は研修会の実施と全国リーダーズ研修会の参加の2事業とする。
若手後継者等育成事業（全国リーダーズ研修会）	本事業は、全国の商工会議所青年部の先導的役割を担う会長および次年度予定者を中心に、全国の青年部会員が次代の地域経済を支えるリーダーとしての人間力向上を図り、地域発展に資する学びの機会を提供することを目的としている。これにより、全国共通の未来的課題の解決と組織の活性化を促進し、運営の充実と一層の発展につなげる。	第43回全国リーダーズ研修会愛知県岡崎会議 ・日程 11月28日(金)、29日(土) ・場所 愛知県岡崎市 ・参加者数 16人 ・アンケート調査結果 100% (満足度)	会員事業所の若手経営者・後継者・幹部職員	指標	45	実績数値	16	指標	70	実績数値	100	得られた効果	総合評価	A	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和8年度の全国リーダーズ研修会は遠隔地となり参加者が限られるため目標参加者数を下げる。

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D 評価								
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	調査結果	満足度			必要性	目標①	目標②		
若手後継者等育成事業（全国大会・セミナー）	全国の女性会との交流を図り、事業の意見交換等を行うことで当会事業の今後の運営方法と実施事業の参考とする。また自己研鑽の場としても学ぶ機会とする。事業所の付加価値が求められる時代となり、当会会員事業所もその必要性を感じている。自社の事業を維持・発展させるとともに、地域貢献を通じて事業所の付加価値を高める方法を学ぶ。	【全国大会】 ・日程：令和7年10月10日（金） ・開催地：東京都（ホテルニューオータニ） ・参加人数 3名 ・アンケート調査結果 100%（満足度） 【付加価値向上セミナー】 ・令和8年1月14日（水） ・セミナー研修先：愛知県大山市 ・テーマ 自社事業の維持・発展のために ・参加対象 半田商工会議所女性会会員 一般会員 ・事業参加者数 14人 ・アンケート調査結果 100%（満足度）	女性会会員	指標	80	100	125.0 %	指標	15	14	93.3 %	全国大会では、当会活動の広報および他の単会の活動について情報交換を行うことができた。女性起業家大賞授賞式では、人材確保や就業環境の見直しなど、事業所のさらなる発展や地域活性にむき合う学びを得た。セミナーについては、農商工福連携の6次産業について、経営者の話を聞くことができ、障がい者雇用や事業所連携での6次産業化について考えるきっかけとなった。当会会員事業所の中には、障がい者雇用をしている事業所もあり、どのように向き合っていくか大きな学びとなった。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 充足	必要性 A	目標① 廃止	目標② 廃止	令和8年度の若手後継者等育成事業は、防災セミナーと視察研修を予定している。
商店街・街づくり事業	市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなってきている。そこで、商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、㈱はんだ賑わいビル開発、㈱トロワ・アバンセの7団体が中心となり賑わい創出をし、まちづくりと市内商店街・中心市街地の活性化を推進する。	・半田市商業施設助成事業利用数 5事業所 ・半田市中心市街地商業活性化にぎわいレントキャンペーン事業参加店舗数 65店舗 ・はんだ商業まつり事業参加店舗数 134店舗	中小・小規模事業者	指標	10	5	50.0 %	指標	80	65	81.3 %	半田市商業施設助成事業では、中心市街地等の商業機能の維持・向上に寄与した。今後は制度の周知強化により、更なる活用促進を図りたい。にぎわい事業は本年度レントキャンペーンを企画・実施。事業趣旨等の普及が及ばず目標達成をすることができなかったが、新たな事業を継続させ根付かせること、消費を継続的に促進していきたい。参加事業所には新規顧客が来店されたなど一定の効果が得られた。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果 B	満足度 充足	必要性 A	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	商業施設助成事業は予算枠が維持されるため、目標件数のみならず、予算消化達成に努める。にぎわい事業については、中心市街地の商業活性化には必要な事業であるため引き続き実施していく。
観光振興・醸すブランド化事業	「醸造業」と「醸造文化」に着目した取り組み「with-Chita-Shu事業」により、賑わいの創出と販路拡大を促し、小規模事業者の振興と経営安定を図る。	・with Chita-Shu事業 参加事業所数 16事業所 【内訳】 ・清酒製造業 7事業所 ・調味料製造業 6事業所（有料試飲事業） ・飲食店 3事業所（食談はんだ）	中小・小規模事業者	指標	11	16	145.5 %	指標			%	地域資源の「醸造」を活かした食関連事業は、市民や当地を訪れる観光客への発信となり、事業者の意識向上を図った。また、食の展示会や、市内内外イベントでのPRにも積極的に努め、特色ある地域資源の発信強化を行った。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 充足	必要性 A	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	引き続き事業者の意識づくり、意識向上を図る取り組みを実施していく。
商談会・ビジネスマッチング事業	展示会や商談会により、市内事業者の販路拡大を図る。当地域で開催される大規模展示会に積極的に出展し、中小・小規模事業者に全国規模の新たなマーケットへのPR、出会いに繋げ販路開拓に寄与する。	・アライアンスパートナー事業（7月） 商談確定件数 42件 ・FOOD STYLE（10月） 出展事業所数 10事業所 ・メッセナゴヤ2025（11月～12月） 出展事業所数 3事業所 ・三河・知多地域商談会（2月） 商談参加数 発注企業1社、受注企業3社	中小・小規模事業者	指標	20	42	210.0 %	指標	10	10	100.0 %	商談会に市内事業者が参加することにより、市外の新たな取引先を開拓することができた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 充足	必要性 A	目標① 上げる	目標② 現行どおり	引き続きアライアンスパートナー発掘市、FOOD STYLE JAPAN（中部）の取り組みを継続し、中小・小規模事業者の販路拡大に寄与する。アライアンスパートナー発掘市は実績を鑑み目標数値を上げる。
部会・委員会事業	企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所の発展に寄与する。部会・委員会の会議並びに研修会等を通じて事業所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果が見込まれる。	部会 会議30回、事業13回 委員会 会議17回、事業7回	中小・小規模事業者	指標	55	67	121.8 %	指標			%	部会・委員会活動を通じて、地域や中小・小規模事業者の支援に繋がる事業が実施できた。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果 A	満足度 充足	必要性 A	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	部会・委員会事業を通じて小規模事業者の支援に繋げていく。

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価					今後の展開・改善点等			
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度		総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②
検定等支援事業	各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、地域社会に貢献する。	検定試験の開催 ・珠算3回、簿記(リアル)3回、簿記(ネット)随時、リテールマーケティング(ネット)随時 ・検定受験者数 合計2,019人 (内訳) ・簿記(リアル)149人、簿記(ネット)1,384人 ・珠算等 431人 ・リテールマーケティング55人	中小企業従業員や一般市民	指標	検定受験者数 (達成度 134.6 %)	指標	(達成度 %)	検定試験の受験様式が、リアルでの統一試験からネットでの随時試験に移り変わっている中でも、各種日商試験を通じて、人材育成に貢献できた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標数値は据え置き、地元商業高校生に向けた平日の団体受験や、個人で気軽に受けられるネット試験などの情報提供に努め、管内での受験者数増加を目指す。	
目標数値	1,500	実績数値	2,019	目標数値		実績数値					A	A	A			現行どおり	実施方法①	実施方法②	
福利厚生事業	中小・小規模事業者の健全な経営、雇用を促すため、各種共済制度を普及し福利厚生の充実を図る。	今年度は年間通して「あおぞら共済加入促進キャンペーン」を展開した。 ・年間の共済新規加入者数163人	中小・小規模事業者	指標	あおぞら共済新規加入者数 (達成度 135.8 %)	指標	(達成度 %)	あおぞら共済加入促進キャンペーンを通じて、従業員からの福利厚生制度の提案ができ、共済新規加入147人に繋げる事ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後もキャンペーンを実施し、より多くの事業所へあおぞら共済の加入を促していく。	
目標数値	120	実績数値	163	目標数値		実績数値					A	A	A			現行どおり	実施方法①	実施方法②	
労働保険事業（労働保険事務組合）	事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。	小規模事業主の労働保険事務の代行 ・委託事業場数 279事業場	中小・小規模事業者	指標	委託事業場数 (達成度 101.5 %)	指標	(達成度 %)	労働保険に関する事務処理の軽減と、適正な手続きを行う事ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も継続して周知を行い、労働保険事務組合受託事業所数を維持する。	
目標数値	275	実績数値	279	目標数値		実績数値					A	A	A			現行どおり	実施方法①	実施方法②	
産業団体等指導事業	小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。	各団体会議・事業 ・半田市商店街連合会 12回 ・日東会 14回	各種団体の会員	指標	会議・事業実施回数 (達成度 104.0 %)	指標	(達成度 %)	地域社会に対する貢献、各団体の強化と事業所の経営力強化が図られた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	各団体と連携し、小規模事業者に必要な事業を推進し、経営力の強化を図るとともに、地域活性化の一翼を担う。	
目標数値	25	実績数値	26	目標数値		実績数値					A	A	A			現行どおり	実施方法①	実施方法②	
調査・広報事業	経営状況を取り巻く変化に対応するため、地域の動向・情報を円滑に提供する。会報誌『カイギンョ』、『ゲッポウ』、メールマガジン、公式LINE等による情報発信により、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。	・景気動向実態調査 調査先 60事業所 ・中小・小規模事業者の振興に資する広報誌(月刊)の発行 ・インターネットやSNSを活用した情報提供 ・公式LINEアカウント友だち登録数 340人	中小・小規模事業者	指標	景気動向実態調査調査事業所数 (達成度 100.0 %)	指標	公式LINEアカウント友だち登録数 (達成度 113.3 %)	景気動向実態調査によって地域の経済情勢を把握することにより、施策やセミナー開催など事業所ニーズに合わせた施策計画ができた。会報誌や各種ツールを使って情報提供出来た。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	景気動向実態調査については、一部の対象事業所を入れ替え継続していく。公式LINEアカウントについては友だち登録数の目標を上げる。事業者にとって必要な情報を早く届けられるよう体制を整えていく。	
目標数値	60	実績数値	60	目標数値	300	実績数値	340				A	A	A			現行どおり	実施方法①	実施方法②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。